

答え合わせ・解説 No.9

問1	答え 2 排他的経済水域	沿岸から200海里（約370km）の範囲に設定される排他的経済水域（EEZ）では、沿岸国に水産資源や鉱物資源の探査・開発などの経済的な権利が認められる。1970年代後半以降、世界各国がこの水域を設定したことで、他国の沿岸近くで操業していた日本の遠洋漁業は締め出され、漁獲量が激減した。
問2	答え 1 ドイツ	環境保護政策に力を入れているこの国では、自動車部品のリサイクル制度の整備や、都市中心部への自動車の乗り入れを制限して大気汚染や混雑を緩和する取り組み（パークアンドライドや環境ゾーンなど）が積極的に行われている。
問3	答え 2 コーヒー	南アメリカ（ブラジルやコロンビアなど）やアジア（ベトナムやインドネシアなど）での生産割合が高く、アフリカや中米でも栽培されている代表的な嗜好品作物はコーヒーである。ブラジルは世界最大の生産国であり、ベトナムはロブスタ種の生産拡大により世界第2位の生産国となっている。オリーブは地中海沿岸、トウモロコシはアメリカ合衆国（コーンベルト）などが主要な生産地であり、これらとは生産地域の分布が大きく異なる。
問4	答え 1 銅鉱	アフリカ大陸南部のザンビアからコンゴ民主共和国にかけての地域は「コッパーベルト」と呼ばれ、世界有数の銅鉱の産地である。銅は電気伝導性が高いため、電線や電子機器の配線などに広く利用されている。なお、安定陸塊の楕状地や卓状地では鉄鉱石が、古期造山帯では石炭が分布しやすいという特徴がある。
問5	答え 3 古紙	ドイツなどの環境先進国では、リサイクル運動や法整備を通じて資源の循環利用が推進されている。そのため、紙・パルプ工業においては、森林から直接生産される木材パルプよりも、回収されたこの資源の消費量の方が多くなっている。
問6	答え 2 繊維工業	安価で豊富な労働力を重視する労働集約的な産業は、生産コストを抑えるために発展途上国や新興国に工場を移転する傾向がある。日本企業の場合、地理的に近く、低賃金な労働力が豊富であった中国への進出が顕著であり、この特徴に最も合致するのは繊維工業である。
問7	答え 4 高速バス	本州四国連絡道路の開通により、本州と四国が陸路で直結されたため、乗り換えなしで安価に移動できるこの交通機関の利便性が飛躍的に向上し、利用者が急増した。これに伴い、それまで移動の主力であったフェリーなどの船舶は衰退した。
問8	答え 2 商業的農業	遺伝子組み換え作物は、生産の効率化や大規模化を図るために導入されるため、自給的農業を行う地域よりも、アメリカ合衆国やブラジルのように市場への出荷を目的として大規模な経営を行う商業的農業国において広く普及している。
問9	答え 3 中国	中国は世界最大の鉄鉱石産出国の一つであるが、それ以上に国内の鉄鋼生産能力（粗鋼生産量世界一）と需要が巨大であるため、国内産出だけでは不足する。そのため、オーストラリアやブラジルなどから大量の鉄鉱石を輸入しており、世界の鉄鉱石輸入量の過半数を占める世界最大の輸入国となっている。
問10	答え 2 タラント	イタリアでは、工業化が進んだ北部と、農業中心で開発が遅れた南部との間の経済格差（南北問題）が課題となっていた。政府は南部開発政策を推進し、臨海部における産業誘致を図った。その代表例がこの都市であり、国営の巨大製鉄所が建設され、臨海型の鉄鋼都市として成長した。なお、自動車工業が発達したトリノなどとは工業の成立背景が異なる。